



病床数

566床

外来患者数

835人
(一日平均)

入院患者数

295人
(一日平均)

医師数

89人
男性81人 女性8人

指導医数

40人

初期研修医数

8人
男性6人 女性2人

所在地 長浜市大戌亥町313
開設者 長浜市長
開設年月日 昭和19年6月25日
病院長 高折 恭一

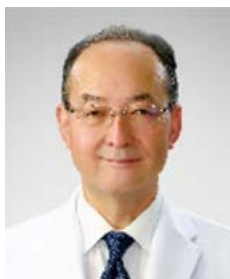
基本19領域診療科目

内科	小児科	皮膚科	精神科
外科	整形外科	産婦人科	眼科
耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科
形成外科	リハビリテーション科	総合診療	

病院のアピールポイント

＜院長 高折 恭一＞

長浜市は、秀吉が長浜城の城下町として整備し、琵琶湖水運の要衝として発展してきた風光明媚な地域です。隣接する米原市とともに、琵琶湖の北東部を占める人口約16万人の湖北保健医療圏を形成しています。新幹線を使えば京阪神へのアクセスは非常に良好です。



市立長浜病院は湖北保健医療圏の基幹病院で、超急性期から、急性期、回復期、慢性期の患者すべてに対応しています。地域がん診療連携病院に指定されており、専門的ながん治療を提供する一方、滋賀県で初めて脳卒中ケアユニット（SCU）を設置して救急診療にも注力しており、多種多様な疾患を診ることができます。研修医の自主性を重んじた研修プログラムを組んでおり、地域医療・在宅医療を含めて幅広く学ぶことができます。

研修の2年間で本当に学んでほしいことは、医療人としての基本となる、メディカルスタッフとの協調性と患者さんに対する誠実性、そして謙虚に反省して明日の成長へとつなげることができる能力です。

研修医の皆さんが、当院に新たなエネルギーを吹き込んでくれることを期待しています。

＜合同・臨床研修委員会委員長（副院長） 高島 弘行＞

当院は滋賀県の中でも岐阜県や福井県と接する広大な湖北医療圏を担当しています。大都市から離れた地方自治体病院ですので、重症患者さんだからといって大学病院等へ転送するのは容易ではありません。プライマリ・ケアから高度先進医療に至るまで「地域完結型医療」を実践、追求し続けることが要求されます。



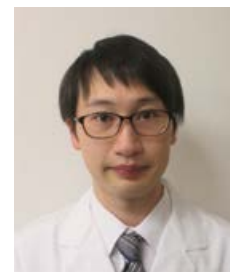
近隣の総合病院も少ないため症例

数は膨大です。私は循環器内科を担当していますが、令和2年度は虚血性心疾患に対するPCIや閉塞性動脈硬化症に対するEVT、さらに不整脈に対するアブレーションなど、滋賀県トップクラスの症例実績でした。超高齢者が多い土地柄でもあり、治療も一筋縄ではいかないこともあるかも知れません。しかし数多くの症例から学ぶことにより、研修終了時には自分に大きな実力がついたことを実感していただける筈です。

また医師とパラメディカル、事務方など様々な職種の間で距離感が近く、家族的で温かな雰囲気であることも当院の特色の一つです。困ったときは誰もがあなたの研修をサポートしてくれると思います。今年もどんな研修医の先生とお会いできるのか楽しみにしています。

＜研修医（2年目） 織田 裕敏＞

昨年4月に長浜市に移り、当院での研修医生活が始まって既に一年が経ちました。右も左もわからない状態からスタートし、先生・コメディカル・先輩研修医の皆様方のご指導の下で、少しでもこの地域医療に貢献できるように日々研鑽を積んできました。



この1年間の研修医生活で感じた当院での研修メリットは、研修医の要望に対してもできるだけ柔軟に対応してもらえることです。研修医は自らの進路と十分に向き合うことのできるカリキュラムで研修することができます。また、長浜赤十字病院との研修医の行き来もあり、違った研修病院からの視点で自らの経験の情報を交換し合う等貴重な繋がりも持つことができます。古くからの交通の要所ということもあり、新幹線を使えば京都にも名古屋にも出やすいという立地もメリットになると思います。是非一度、見学に来ていただければと思います。

研修プログラムの目的、特徴

【目的】

“医の原点”とも言うべき救急医療と、全人的なプライマリ・ケアを重視した初期研修の場の提供と人材育成

【特徴】

- 1年目は基本研修科目とし、救急医療とプライマリ・ケアに必要な知識と技術の習得を重視した研修を行います。
- 選択科目(最長11か月)は原則として基本研修科目、必修研修科目をさらに深く研修するため、または研修が不十分と判断された科目の再履修にあてます。ただし、希望があれば、他の専門領域の選択も可能となり、自主プログラミングをすることで、研修医の自主性を尊重できる研修を実施しています。

- 選択科目においては、希望する診療科、研修期間など、研修医の将来の希望に応じた研修スケジュールを最大限尊重するように組んでおり、自由度が高いと同時に、自主性を重視しています。
- 月4回程度の宿日直研修では、研修医が担当する割合が大きく実践的な研修を行えるなかにも、上級医の監督・指導の下(2年目研修医はファーストコールを任せられる)で知識や手技を的確に習得できます。
- 地域の基幹病院としての充実した設備の下、多彩な選択領域のなかで幅広い症例や疾患を経験することができます。
- 研修医教育のための勉強会を多数用意。院外講師(総合診療医、外国人講師等)を招くなど、スキルアップを目的とした多彩な研修会を通じて、自己研鑽を

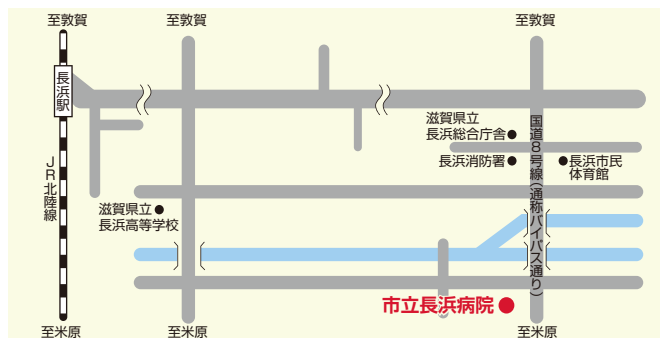
研修スケジュール例

研修協力病院、研修協力施設

募集要項

応募連絡先

所在地 長浜市大戌亥町313
 担当部署 総務課
 電話 0749-68-2324
 FAX 0749-65-1259
 E-mail nch-soumu@city.nagahama.lg.jp



市立
大津
市民
病院

大津
赤十
字
病
院

滋賀
医大
附
属
病
院

J
C
H
O
滋
賀
病
院

草
津
総
合
病
院

滋
賀
県
立
総
合
病
院

滋
賀
県
生
病
院
会

公
立
甲
賀
病
院

近
江
八
幡
市
立
総
合
医
療
セ
ン
タ
ー

東
近
江
総
合
医
療
セ
ン
タ
ー

彦
根
市
立
病
院

市
立
長
浜
病
院

長
浜
赤
十
字
病
院

高
島
市
民
病
院